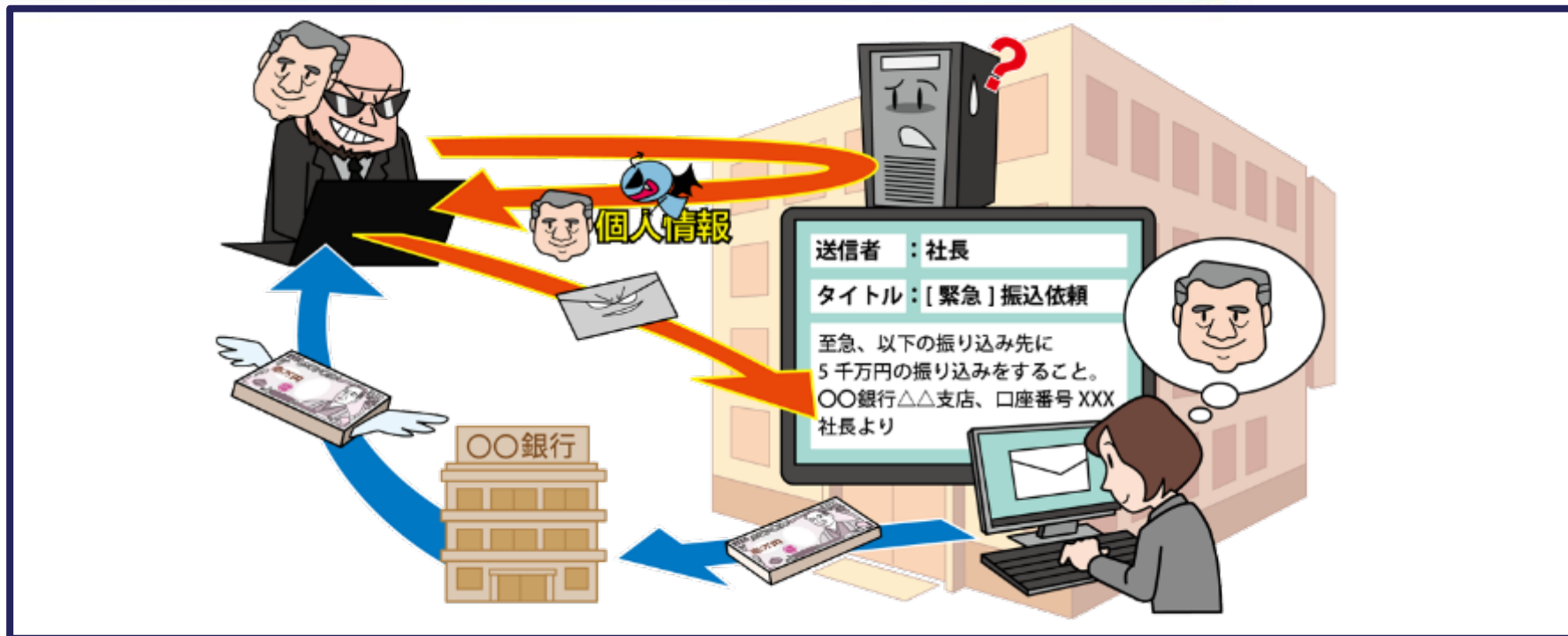


【8位】ビジネスメール詐欺による金銭被害

～組織までも振り込め詐欺の標的に～

IPA



- ◆ 取引先や経営者とやりとりするようなビジネスメールを装う
- ◆ メールを巧妙に細工し、企業の金銭を取り扱う担当者を騙す
- ◆ 攻撃者が用意した口座へ送金させる

【8位】ビジネスメール詐欺による金銭被害

～組織までも振り込め詐欺の標的に～

IPA

◆ 攻撃手口

・偽装、なりすまし、悪用、窃取

- 取引先との請求書の偽装
- 経営者等へのなりすまし
- 窃取したメールアカウントの悪用
- 社外の権威ある第三者へのなりすまし
- 詐欺の準備行為と思われる情報の窃取



【8位】ビジネスメール詐欺による金銭被害

～組織までも振り込め詐欺の標的に～



◆ 2023年の事例/傾向①

・ メールと電話を併用したなりすまし

- ・ 2023年8月、サイバー情報共有イニシアティブ(J-CSIP)が同年5月に メールと電話を組み合わせたビジネスメール詐欺が行われたことを報告した
- ・ 攻撃者は標的組織の会長になりすまして同組織の海外関連会社の社長にメールを送信し、さらに専務になりすまして発信元番号を同組織の代表番号に偽装して電話で連絡をしていた
- ・ 被害者は会話からなりすましに気が付き指摘したところ、一方的に通話を切られ、金銭的な被害等は発生しなかった
- ・ 生成AI技術を用いたディープフェイクの音声が悪用された可能性もあるため、J-CSIPは類似した手口に警戒するよう注意喚起をした

【出典】サイバー情報共有イニシアティブ(J-CSIP)運用状況[2023 年 4 月～6 月](IPA)
<https://www.ipa.go.jp/security/j-csip/ug65p9000000nkvm-att/fy23-q1-report.pdf>

【8位】ビジネスメール詐欺による金銭被害

～組織までも振り込め詐欺の標的に～

IPA

◆ 2023年の事例/傾向②

• 信頼できる取引先を騙るメール詐欺

- 2023年12月、スリー・ディー・マトリックスは、支払口座の変更依頼が書かれた取引先の名を騙るメールに従い、虚偽の銀行口座に振り込みをしたことを公表した
- その後も同様の振り込みをし、合計2回の総額2億円を振り込んだことも公表した
- その取引先とは信頼関係があったため、同社は振込先口座の変更依頼の理由を直接電話で確認していなかった
- 再発防止策として、送金プロセスの見直しなどを挙げている

【出典】 送金詐欺による資金流出被害のお知らせ(株式会社スリー・ディー・マトリックス)
<https://pdf.irpocket.com/C7777/ZoWa/awjA/EOHM.pdf>

【8位】ビジネスメール詐欺による金銭被害

～組織までも振り込め詐欺の標的に～

◆ 対策

● 組織

【被害の予防(被害に備えた対策を含む)】

- ビジネスメール詐欺への認識を深める
- ガバナンスが機能する業務フローの構築
- メールに依存しない業務フローの構築
- メールの電子署名の付与(S/MIMEやPGP)
- DMARCの導入
- パスワードを適切に運用する
- メールだけでなく複数の手段での事実確認
- 普段とは異なるメールに注意する
- 判断を急がせるメールに注意



【8位】ビジネスメール詐欺による金銭被害

～組織までも振り込め詐欺の標的に～

◆ 対策

● 組織

【被害を受けた後の対応】

- 適切な報告／連絡／相談を行う
 - 上司、CSIRT、関係組織、公的機関等
- インシデント対応体制を整備し、対応する
- メールアカウントの設定を確認する
- パスワードを適切に運用する

